



音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp



会場内に勢ぞろいしたエンディング

第53回はたらくものの音楽祭 水戸音楽祭 成功裡に開催

第53回はたらくものの音楽祭は、9月3日・4日、茨城県水戸市のザ・ヒロサワ・シティ会館（茨城県立県民文化センター）小ホールで、連合茨城をはじめとする茨城県内の労働組合と民主団体、全国規模の労働組合と民主団体のご支援のもと、全国の日音協と音楽仲間たちのご協力で開催しました。3日、4日、それぞれ150人が参加しました。

中央企画1、県実企画1、ゲスト1（いなのとひら・のとこば）、スポットライト1、そして一般演奏20（サークル7、日音協県支部10、全国労組・労組音協3）の演奏が繰り広げられました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、演奏者・参加者とも大きく減りましたが、久しぶりに集まれてよかったとの声が、日音協事務局に寄せられています。

【オープニング】ウクライナでの戦争の中で平和を発信しました。「決意」は後半、ロックンロールに。

【パールライス】ふたりの通き通ったハーモニー。ふるさとの風景が浮かび上がる演奏。

【Periodista】女性のつたえとバイオリンとのからみ合いが美しい。「光の記憶」はやさしくあたたかい歌。

【Kako ~ Mika】Kakoさんの力強いうたごえに、強く生きていこうと思いました。フアッションも素敵。

【メーデー合唱団】素敵なおハローで始まった。「ガジュマルの樹」では動きも加わって楽しい。



【Rico & Tatsu】「名まえで呼んでよ」じーんと伝わってきます。沖縄の痛みを共有する歌にも説得力。

【林音協】映像の演出で反核平和の火リレーをうたいました。早くみんなで酒を酌み交わしたいですね。

【合唱団ミール】ストリートなことが素敵で合唱に乗って。音楽を楽しんでいることが伝わってきます。

【シングルトリオ】時事ネタを取り入れて、風刺が効いて楽しい作品。安倍ちゃんが似ていてびっくり！



【日音協青森県支部】独特のメロディ、おしゃべりなコード。政府の暴走を許さない。一人でもがんばりました。

【日音協九州支部】「炭掘る仲間」は炭鉱事故の抗議集会で今も歌っているとのこと。「オール電化」も面白い。

（2面につづく）

関東ブロック合宿4年ぶりの開催します

◎10月22日（土）13:30～17:00
23日（日）9:00～11:30

◎講演 『創作について』 笠木博逸氏

※お問い合わせは、日音協事務局まで。

駒込地域文化創造館第一会議室

駒込地域文化創造館音楽室

◎参加費 6,000円（宿泊等は含まず）

【日音協茨城県支部】「やさしい心を武器にして」大雨の中の基地包囲を思い出しました。今またうたいたい歌。



【日音協新潟県支部】声がよく出て素晴らしいハーモニー。今村さんのサクソも印象的。アンケートではブービーバンドに次ぐ人気。

【日音協福島県支部】事故を許せない怒りと希望も。「ざけんじゃネエ」は軽快なリズムに強いメッセージ。

【日音協秋田県支部】3人でも力強く。「南京の老女の祈り」は重いテーマを掛け合いで印象的に。

(1面からつづく)

ゲスト【いなのとひら・のこば】風刺の効いたうたと、凄腕ギター。「同じじゃなくなつて関係ない、同じになつてなることない」心に沁みました。



【メイウィンズ】肩の力が抜けて声がそろって聴こえました。「告別」は詩の優しさが伝わるうたこえ。

【Tony】おなじみの歌をピアノで、ギターで、堂々とした伸びやかなうたこえで素敵でした。

【自治労音協】保育所の現場が楽しく伝わりました。「硝煙の臭い」のしなやかな日本であり続けたい。

【日本私鉄労働組合総連合会】大人数の演奏、団結とパワーが伝わってきます。「今こそ、ひとつになろう」

【FMカンパニー】安倍麻生甘利をおちよくり、ウクライナに暖かい連帯を、そして戦争はノーノー。

【日音協東京都支部】「おかあさん」から曲調が変わり、満員電車、戦争を日常の中から可視化しようとする。

【エンディング】裏方のみなさんがステージに上がりました。「インターナショナル」は定番。歌えてよかった。

(松本敏之)

【参加者アンケートの集約】

●印象に残った曲は？

- ちむどんどんする 7
- ありがとうの花束 5
- ガジュマルの木 3
- 武器を捨てて 3
- 10年前のこと 3
- なまえ 2
- ふるふるふる 2
- 強く 2
- ぼくとオキナワ 2
- 私は許さない 2
- 塩狩峠 2
- ざけんじゃネエー汚染水放出 2
- 線引きやっこ 2
- ひまわりの種 1
- 光の記憶 1
- 今言い続けよう 1
- いつの日にか 1
- はじめのことば 1
- みんなの唄 1

●印象に残った出演団体は？

- ブービーバンド 8
- 日音協新潟県支部 4
- スポットライト江崎文雄 3
- いなのとひら・のこば 3
- FMカンパニー 3
- シングルトリオ 2
- KakoとMika 2
- パールライス 2
- Rico & Tatsu 2
- 日音協東京都支部 2
- 自治労音協 1
- メーデー合唱団 1
- 日音協青森県支部 1
- 私鉄総連 1
- メイウィンズ 1
- 日音協福島県支部 1

安倍サンの国葬NO!NO!NO!

詩 杉五郎+美日



(3面に関連記事)



音楽祭スタッフを体験 来年もまたよろしく

■幹事になって以降、音楽祭はすーっと司会担当でしたが、今回初めて舞台監督をやらせていただきました。とは言え、集会ステージやイットクフェスなどではほぼ舞台監督の立場で動いて来ましたので、引き受けた時点では今までの経験に毛が生えた程度と甘くみていました。

しかし、日が迫るに従い、収まりをみせようとしないうちにコロナ感染拡大の最中に大きなイベントを主催し、特にその感染源のもっともリスクの高いと思われるステージを監督する立場にあることの重責を痛感するようになりました。なので、音楽祭が成功裏に終わり、とりあえずホッとしたものの、その後1週間、出演者の感染情報にビクビクし、気が気ではありませんでした。結果、誰1人感染することなく1週間が過ぎ、ようやく心から安堵した次第です。これも全て、最もリスクの高い作業を担ってくださったステージスタッフの皆様と、ご協力いただいた出演者の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

さて、初めて舞台監督をやらせていただき、舞台上での色々な課題を感じましたので、来年の新潟音楽祭に少しでも役立てばよいかと思い、次回の音楽運動から課題別に掲載させていただこうと思っています。

まず、来月号では、ステージスタッフの皆さんやPAの方にも意見を伺いながら、音楽祭における最適なマイクの使用法を考察し、読者の皆さんと共有を目指したいと思います。(坂口)

■始めて舞台スタッフをやりました。これまでは菊池さんの指揮で設営から本番・撤収まで切り盛りしていた大事な任務ですが、今年は幹事会の打ち合わせで任務分けが行ったり来たりした結果、なんと中央幹事の細川さんと後藤が各支部や現地のスタッフとともにその任務にあたることになるのでした。

個人的にはコロナ禍での開催には正直多少の抵抗はありましたが、感染防止対策はもとより、舞台配置図の記載方法や当日の動きのシミュレーションの議論も繰り返し行われるなかで、後ろ向きの気分が小さくなっていくのを感じていました。なんといっても音楽運動の一大イベントの音楽現場を作って運営することに楽しさが伴わないなんてことはありえないことですからね。

舞台スタッフの仕事はどんなふうかという、使用機材の確認やその配置、ボーカルマイクは8本と制限したものの、出演団体毎に舞台チェンジを繰り返すわけですから、スタッフひとりひとりに舞台チェンジごとに何番マイクは誰、使用楽器は何、マイクカバーの取り替え、ピアノやマイクスタンド・コード、椅子などの除菌は誰々などと演奏中に貼り出される指示板を確認してスタンバイしているわけです。今回は感染防止対策込みでインターバルを例年の倍の4分として入れ替え作業を行いました。作業の組み立ては、毎年舞台スタッフを担っている皆さんの経験に負うところが大きく、マリリンこと古谷さんジャイアンこと鳴沢さん、岩野さんから率先して舞台スタッフを引っ張っていただいたことに感謝します。

そんなに若いとはいえないスタッフの構成でしたが、みんな音楽の現場が好きなんですね。おかげさまでどうにかこうにかやり遂げることができました。

ありがとうございました。お疲れさまでした。来年は9ヵ月後に新潟で会いましょう。(後藤)

安倍元首相「国葬」反対！9・27国会正門前大行動 うた行動に11名

9月27日(火)、安倍元首相「国葬」反対！9・27国会正門前大行動が国会正門前で行われ、うたごえ行動に11名が参加しました。

国会正門前集会は15,000人が集結。そのほかに、日比谷公園から銀座へのデモ、金華公園から九段に向かうデモなど、この日は多くの行動がありました。

13時より憲政会館前で参加者の出迎え演奏。集会後は財務省上交差点(茱萸坂近く)で見送り演奏を行いました。見送りは元気のよい替え歌を中心に、『安倍サンの国葬NO!NO!NO!』『もう国会議員にやれないよ(国葬反対バージョン)』『戦争に力貸さない(国葬に心貸さない)』などの替え歌に拍手がおきました。そして、なんと市野さんが歌声を聞きつけて歌に加わり、ともに声を上げてくださりました。替え歌のベースはすべて市野さんの作品。大先輩の後押しをいただき、歌にも弾みがつきました。

集会参加者が多く、お見送り演奏は1時間以上に及びました。(森)



9月19日(月・祝)、『安倍元首相国葬反対! 改憲発議と大軍拡やめろ! さようなら戦争 さようなら原発 9・19大集会』が東京都・代々木公園で行われ、13000人が結集しました。

台風の影響でテント開設は中止。集会中も雨が降ったりやんだり。しかしデモ行進の時間にはすっかり上がっていました。

デモの送り出し演奏には日音協関係のほか、金曜行動や防衛省前行動と一緒に歌う仲間も加わり、13名が参加しました。(森)

バラエティに富む応募作品

公平に審査するって大変だあ～

日音協ソングの選考はこれまで、音楽祭参加者の投票で決めたり、日音協幹事会の選考で決めていました。今回からは、支部の推薦を受けた音楽経験豊富な方の中から4人、幹事会から4人、合計8人で選考します。

応募作品は17曲集まり、そのうち応募規定に適合する作品は16曲（楽譜で10、音源で6）でした。応募楽譜に対し参考の音源や詩、応募音源に対し参考の楽譜や詩が用意されることもある。ただし、応募で楽譜と音源の両方が提出された場合には、どちらが応募作品か事務局から確認をお願いすると規定されているので、応募作品はどちらか一方に限定される。そのため選考に際し、音源での応募と楽譜での応募の二つを公平に比較検討するとはどうしたらいいか難しそうです。例えば、応募された音源と、楽譜で応募された作品の参考音源を比較するとしたら後者の楽譜を無視することになりはしないか。また、応募音源の演奏の良し悪しを選考に影響させると作品そのものの選考にならないと思う。「公平に」って難しいことですね。

私流のやり方は、それぞれの作品を自分で歌えるようにすること。そうすれば音源の演奏の良し悪しは緩和され、同音異義語を含め歌詞が確認でき、メロディやリズムが分析できる。楽譜から音やリズムを拾うのは慣れている。しかし、ミミコピ苦手の私は音源からメロディを音符に翻訳は出来ず一度楽器で確認するしかない。また、器楽中心の音楽をやってきたので、少し歌詞に鈍感、意識して歌詞を読むしかない。なお、参考楽譜の無い音源のみの応募作品を試しに楽譜にしてみたが、毎日が日曜のわりに多くの時間がかかった。コードの再現は不安だが、きちんと歌えるようにはなった。ここまで来ると旋律や歌詞が別々に存在するのではなく、歌として一体となったイメージが浮かんで来る。

これからの課題はまだ多い。応募作品で、1フレーズが4小節や6小節や8小節と定型でない散文のような楽譜は、それをどのように表現するのだろうか悩む。8小節ごとに同主調への転調（同じ主音の長調から短調へ、短調から長調へ）が繰り返される歌は、同じようなメロディの一部が半音変わるので強い違和感を覚え歌にくい。楽譜の一拍が「付点8分音符+16分音符」または「3連符」で書かれている一方、「8分休符+8分音符」の記譜が少なくない。楽譜で応募なので楽譜通りに解釈するのならば跳ねるリズムにならないのだが公平にするはどうしたらよいか悩む。4分の4拍子(4/4)の曲の途中で2/4が1小節入り込み、その後の旋律の強拍がわからなくなる。これじゃダメだとどの作品も日を変えてまた歌ってみるが、バラエティーに富む今回の応募作品、全16曲を自分で歌えるようになるのはいつになることか。

(選考委員 細川)

日音協ソング2022応募曲(17曲)

1. 青い灯は私のつぶやき
詩・曲＝山本 英二 (新潟)
2. 青と、黄と、鈍色
詩・曲＝宮脇 昌典 (香川)
3. (欠番)
4. いつの日にか
詩・曲＝山崎 和敏 (長野)
5. ウィニングロード
詩・曲＝宮沢 英明 (長野)
6. オール電化は要らない
詩・曲＝三小田 勲 (九州)
7. 風が伝えるふるさと
詩・曲＝山崎 和敏 (長野)
8. クロマニヨンが笑ってる
詩・曲＝唯一無二ゆ (長野)
9. 侵略者たちにひまわりの種を渡すな
詩＝津谷さつき 曲＝後藤 雅裕
補詩＝日本音楽協議会秋田県支部 (秋田)
10. ちむどんどん
詩・曲＝BBB (北海道)
11. テッペンカケタカ
詩・曲＝塚本 茂子 (長野)
12. 人間らしく生きるのさ
詩・曲＝瓦井 孔二 (千葉)
13. 光の記憶
詩＝福本 桜 曲＝おだ かずや (東京)
14. ひまわりの種を
詩＝守谷 明宏 曲＝関 克己 (北海道)
15. 武器を捨てて
詩・曲＝桑野 功 (北海道)
16. 補助輪だっていいじゃないか
詩・曲＝のぞみ (岩手)
17. RESISTANCE
詩・曲＝宮沢 英明 (長野)

選考委員会だより

- ① 第1回選考委員会は、7月18日、ZOOMにより顔合わせを行いました。
- ② 第2回は、9月10日、ZOOMにより応募作品の確認（楽譜、音源など）をし、選考の進め方を協議しました。なお、諸事情により選考委員が、まとはよしおさんから笠木博逸さんに交代となりました。
- ③ 第3回は、11月5日に東京で開催し、推薦曲を決定します。
- ④ 推薦曲は、11月12日の第59回定期総会で披露し、『音楽運動』に楽譜を掲載し、来年の第54回はたらくものの音楽祭で演奏していただきます。
- ⑤ なお、応募曲はすべて楽譜集にして『音楽運動』号外の形で、日音協会員と機関紙読者にお届けします。

ええ～ まさかやあ～ 2022年夏 FMC クラスタ事件

茨城祭典では、コロナ禍で参加自粛となった支部があると聞きました。FM カンパニーも祭典直前にメンバーのほとんどがコロナ感染、このままでは欠席するしかないか、という事態に。実録「2022夏、FM クラスタ事件」の報告です。

祭典まで2週間と迫った8月20日。この日は発表曲の大詰めを迎えた全体練習の日でした。当日少し喉に痛みを覚えていたS会長とNちゃん(S原)は、念のため朝に抗体検査キットで陰性を確認してのぞみました。

しかし、これが仇となってしまった。マスク無しでリコーダーを吹きまっていたS会長が22日に急変しPCR検査をしたところ陽性と判明。さらに心配になったI野、K野、Nちゃんのブービーが揃って検査して23日に陽性判明。それまで無症状だったM場、K木、MSも急に発熱して24日に陽性となってしまった。遡ること18日にブービーと会長がススキノの居酒屋で飲んだ際に、どこかで罹患したのが事の発端らしい。あれほど注意をしていたのに、FMCメンバーにまで拡散させてしまいました。直ちに隔離療養に入ったものの家族にもうつり、最終的に11人が感染する「FMC クラスタ事件」になってしまったという訳です。一時は声も出ない状況で欠席を考えましたが、その間グループLINEで健康チェックと発表曲の確認をやり取りしながら、ぎりぎりでの参加を決意。10日間の療養期間を経て9月2日になんとか茨城にたどりつくことができました。

練習も出来ず、療養明けで声もかすれてましたが、全国の仲間に出会えた喜びをかみしめ歌うことができ最高に「ちむどんどん」しました。全国の皆さん、コロナに負けずに頑張りましょう。(I野)

感染回復を確認して茨城へ



(練習風景)



原爆ドーム



「食とみどりと水のフェスティバル」が9月10日、秋田駅前大屋根下で開催されました。

秋田県支部も6人が参加し、歌と演奏でアピールしました。後藤、藤原、熊谷、阿部、下総(夫婦)で、「外で集まって歌うの何年ぶり？」などと話しながらも、練習無しのぶっつけ本番! 声が出ないし 揃わな～い!! 2年間コロナウィルスのせいで開催出来なかったものの、今年で39回目となる本フェスティバル。全水道、林野労組、全農林、連合秋田など13の労組や団体が構成され、続けられています。イベントではお米や梨、ポン菓子、環境と肌に優しい石鹸などの無料配布もあり、たくさんの来場者が来ました。

日音協秋田県支部では、20曲近い曲を準備し、10時30分過ぎから歌い初めたものの、隣接する開場で行われていた「バスまつり」での音楽プログラムと被らないように配慮をしたところ、時間の都合で半分くらいしか歌えなかったというアクシデントも。次回は消化不良にならないように、他イベントとのすり合わせをしっかりとやって、頑張るぞー。(下総大)

ダイ・イン集会 3年振りのうたごえ演奏

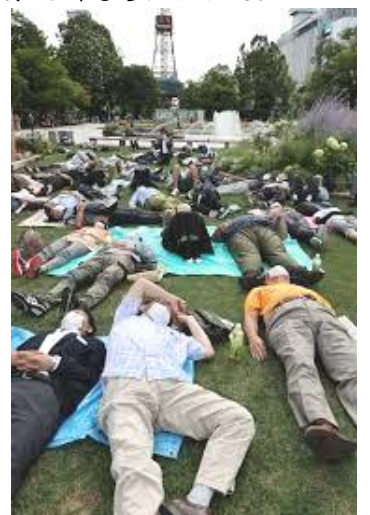


8月6日広島に原爆が投下されて77年目の夏。

札幌地区連合主催のダイ・イン集会が札幌市中央区の大通り公園で開催され、3年ぶりにFMカンパニーが前段のうたごえ演奏を行った。過去最多フルメンバーの8人で臨み、小型ミキサーで6本のマイクとベースまで配置して街宣車のスピーカーで歌を流した。

「原爆許すまじ」「鳩よ舞い上げれ」など6曲を歌い終えて、8時15分の投下時間に合わせて100人の参加者はダイ・インをして核兵器廃絶を訴えた。

(磯野)



水道橋 だより

【音楽祭参加者の感想から】

▼「発表時間を守るように」言われて、まじめに守った人とそうでない人が同じ料金を払うのは正直納得がいかない気がしました。▼実行委員会の皆さま、開催をしてくださりありがとうございます。やはり歌は心を打ちます。それぞれの歌が本当に素晴らしかったです。今後も歌で仲間を増やしてまいりましょう！働く仲間の団結を続けて参りましょう！▼（印象に残った出演団体の）他はもっとガンバレ、歌が客席に伝わってきません。照明はもっと明るくした方が良いです。ホリも明るくした方が細工のしようがないのだから▼発表全体に熱量が足りない気がする▼コロナ禍の中、参加者も開催関係者も大変だったと思いますが、開けて良かったですね。▼多彩な出演団体に良い音楽祭でした。若い仲間の参加に向けて取り組んでいきたいですね。▼ステージのモニター音がもっとほしかった。客席にはきちんと音が出ていたが、演奏側も音が必要。出演者の歌、思いがもっと前に出てほしいな。会場、ステージ、スタッフのみなさんのコロナ対策、ありがとうございました。▼ゲストの演奏は最高！いなのとひら・のとは。強いメッセージ、すてきでした。うちなんちゅうの『沖縄を返せ』はいいです。▼3年ぶりの祭典で、全国の仲間と会えてうれしかった。やはり発表する場が大事です。▼あったか〜い雰囲気は、ひとえに司会のおっとりした話しがかもしたものと、（時間的に追われないのも良かったんだろう）…。

▼ありがとうございました。（佐藤）

歌の力が物語るもの110

葉萼坂つた行動 9/9 (453回) 報告 Rico

【参加者】はしゆきさん、モリヤさん、佐藤さん、モッチー、『民衆の歌』の男性、達哉、森、計7名

地下鉄から出ると薄暗くなっていた。葉萼坂には、経産省前行動を終えたモリヤさんとはしゆきさんが到着していた。日曜日は経産省前テントひろばの『丸11年「脱原発テントひろば」大集会』がある。モリヤさんも日音協も、そのオープニング演奏に出演することになっている。

モリヤさんとはしゆきさんが、その演目の演奏から始めた。『ああ福島』『水に流すな』はしゆきさんのリコーダーがきれいに響く。日音協の11日の予定曲は、久しぶりに参加予定の瓦井さんに合わせての選曲になっている。『双葉の秋』『答えはわれらに』『メッセージ』等々。練習を兼ねて歌った。佐藤さん到着。今日はワンマンバンドのフル装備だ。いつもはお仕事帰りでトランペットだけだが、胸にアコーデイオン、背にスネアドラムとバスドラムとシンバル、肩口にミニキーボードと鍵盤ハーモニカとトランペット、脇にビブラスラップ。時々どこからかバイオリンも取り出している。『戦争反対』の小さな幟旗の裏は憲法9条だった。『腕は何本あるの?』と尋ねてしまうほど、多種の楽器。

器。自分で組み立てたのだという。そして、その姿で電車に乗って来たのだそうだ。みんなできりかこんで撮影タイム！『民衆の歌』グループで一緒にの男性が、杖を手にとってきた。『病氣していてさ、久しぶりに来たんだけど誰もいなくて…』。私自身、このところ『民衆の歌』の方に参加できていなかったもので、杖をついている姿にびっくりした。せっかく来たから、ここで一緒に『民衆の歌』を歌おう。ワンマンバンドのおかげで、オーケストラ気分が歌い上げることができた。モッチーも到着し、歌い手も増え、声も膨らむ。

『ふるさと沖縄』を歌った。続けて『月桃』。日曜日は沖縄県知事選投票日だ。『沖縄今こそ立ち上がるう』を歌う。民意がまっすぐに示されますように。政府に『聞く耳』を持たせるため、私たちはここで共に闘おう。11日は『経産省前テントひろば集会』、そして来週16日は『原発いらない金曜行動』、19日は久しぶりに代々木公園で『さようなら原発集会』が開催される。乱鬼龍さんが『原発が原爆になる 怖ろしさ』と川柳で詠んだ。地震だけでなく、ヒトの行動も原発の危険要因だ。福島も終わっていないのに、新設なんてどの口が言う！私たちは許さない！



どん行

(159)

飯島貞親

あ…。至極の幸せなの、わびしいな

▼ファスト映画が問題になっている。映画の映像を無断で使用し、字幕やナレーションをつけて10分程度にまとめたストーリーを明かす違法動画のことで、作成者は巨額の賠償を求められている▼ここ数年で再生回数や投稿数が増えたファスト映画。流行りに乗るために、数をこなす。倍速で視聴して、コスパ良く、時間をかけずに良いものを知りたいというせちがらい世相が反映している▼映像に限らず盗む行為は犯罪である。盗まれば、制作者にとっては収入が減る。ということは、次回作が作れない。応援している監督や俳優へ迷惑をかけてしまい、映画や映像制作の文化そのものに被害がおよぶ▼せっかちなのは音楽の世界も同様で、最近はイントロが短いのが目立つようだ。イントロは作品の入り口で想像を膨らませてくれる大切なもの。イメージが盛り上がるまで待ってられないのだらうか。古賀政男の昔の作品には本体より長いイントロがついている曲がある▼食べ物の世界も同じか。ファストフードという調理時間が短くすぐに食べられるのが魅力となっている。旬なんてのは料理番組の中だけ？一番うまい時期を逃さず素材をじっくり味わうのは至極の幸せなの、わびしいな